

富山高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	インターンシップ A (国内)	
科目基礎情報							
科目番号	0011			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	海事システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	専攻科インターンシップ実施要項						
担当教員	由井 四海,長谷川 博						
到達目標							
学習目標(授業の狙い) 技術者として国際的視点で事象を捉え続ける能力を身に付け、母国だけでなく地球にやさしい視点で判断し、説明できる能力を養うことを目標とする。そのために2週間以上の日本企業研修を行う。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		研修先企業での実習への参加を通して、国際的視点で事象を捉え、判断し、説明することが十分になされた。		研修先企業での実習への参加を通して、国際的視点で事象を捉え、判断し、説明することがなされた。		国際的視点で事象を捉え、判断し、説明することができなかった。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	・制御工学や情報工学関係を含む特定の国際問題についてその解決案を説明できる。(a,g) ・制御工学や情報工学を含む特定の国際問題について倫理的な視点から説明ができる。(b,f)						
授業の進め方・方法	プレゼンテーションとレポートにより評価する。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	インターンシップ先の決定		履修希望学生は、受け入れ先と相談の上、担任の承認を得た後、申請書にて申請し、許可を得る。		
		2週	準備		必ず学生教育研究災害保険（インターンシップコース）に加入すること。		
		3週	準備		指定された書式のインターンシップ申込書、誓約書を担任に提出すること。		
		4週	インターンシップ期間中		学生はインターンシップ業務に従事し、所定の書式に毎日の業務記録を作成する。また、業務指導担当者の所見をいただくこと。		
		5週	インターンシップ終了後		インターンシップ業務終了時には報告書を作成する。 そして、担任に提出する。		
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	50	0	0	50	0	100
基礎的能力	0	50	0	0	50	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0